



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第36号

平成25年1月1日(年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習スポーツ課

☎ 728-4111

✉ shogai@city.okegawa.lg.jp



今に活かす江戸の知恵 ～家庭・地域で子どもを育てる～ 和楽舎代表 辻川 牧子 さん

「子は世の宝」

和服でお見えになつた辻川先生は、優しくてよく通る声で講演を始められました。

江戸時代は平和な世の中が長く続いたので、その恩恵を受けて文化が発展し、町人たちは教養も高まりました。江戸の人々は「心がなければ人間ではない」と心をなにより大切にし、心にゆとりを持つ状態を良しとしました。自分

の生に感謝し、人に対して敬意、誠意を持つこと、これが江戸の「いき」ということだ

そうです。この考えは子育ても反映されました。

江戸時代、子どもは「世の宝」として、親をはじめ地域の人々に大切にされました。幕末から明治にかけて来日した外国人の多くが子どもたちを常に見守り、かわいがる大人たち、笑顔いっぱいの子どもたちを見て驚き、「日本は子どもの天国」というような言葉を残しているそうです。といつてただ甘やかしてい

るのではなく、自立を目指して、あいさつ、言葉遣いなど

の生に感謝し、人に対して敬意、誠意を持つこと、これが江戸の「いき」ということだ

お話しの中でもう一つ印象深かったのは言霊（ことだま）の言葉でした。言葉には力があることを引き寄せ、悪い言葉は悪いこと

このことはまさに、今必要とされていることではないでしょうか。

お話しの中でもう一つ印象深かったのは言霊（ことだま）の言葉でした。言葉には力があることを引き寄せ、悪い言葉は悪いこと

お話しの中でもう一つ印象深かったのは言霊（ことだま）の言葉でした。言葉には力があることを引き寄せ、悪い言葉は悪いこと

お話しの中でもう一つ印象深かったのは言霊（ことだま）の言葉でした。言葉には力があることを引き寄せ、悪い言葉は悪いこと

話でした。

講師プロフィール

これまでカウンセリングなどの仕事をされ、1994年より「江戸しぐさ」を習い、現在は江戸時代を中心とした昔の人々の生き方を学びながら、子育て、助け合い、自然に添う暮らし方や商売繁盛のことなど、さまざまな講演をされております。

これまでカウンセリングなどの仕事をされ、1994年より「江戸しぐさ」を習い、現在は江戸時代を中心とした昔の人々の生き方を学びながら、子育て、助け合い、自然に添う暮らし方や商売繁盛のことなど、さまざまな講演をされております。

第二十五回桶川市青少年健全育成市民大会

健全育成市民大会

中で育まれる子どもたち。その想いが、被災地へ世界へと向かつて、いつたらと願った大会でした。

(吉)

平成二十四年十一月二十五日(日) 桶川東公民館大ホールにおいて、「第二十五回桶川市青少年健全育成市民大会」が開催されました。

開会行事に続き、「青少年育成功勞賞」「善行賞」の表彰が行われ、さらに市内の小・中学生が真剣に取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と作文コンクール優秀作品の朗読が行われました。

その後、和楽舎の代表、辻川牧子先生による講演がありました。多くの人との関わり合いの

会長就任あいさつ



桶川市青少年健全
育成市民議會議長

渋谷 光章

善行賞表彰



| | |
|------------------|---------------|
| 桶川市地区更生保護女性会 | 小野沢 緑 |
| 鴻巣地区保育司会桶川支部 | 大木 貢 |
| 桶川カーディナルスポーツ少年団 | 砂川 正廣 |
| 桶川市子ども会育成連絡協議会 | 鈴木 洋子 |
| 桶川サッカースポーツ少年団 | 吉田 亨康 |
| 桶川中学校P.T.A | 瀧瀬 豊 |
| 桶川イーグルススポーツ少年団 | 三上 正己 |
| 桶川市合氣道連盟 | 岩田 俊浩 |
| 桶川北ミニバスケットボールクラブ | 石川 顯一 |
| 桶川ヤングアローズスポーツ少年団 | 古井 明浩 |
| 桶川市青少年相談員協議会 | 上代 紀宏 |
| 桶川市民生委員・児童委員協議会 | 松枝 垣里 |
| 川田谷小学校五年三村 莉杏 | 日出谷小学校六年高橋麻裕子 |
| 川田谷小学校五年三村 莉杏 | 川田谷小学校五年深谷 娅里 |
| みんなでひまわり畑へ | みんなでひまわり畑へ |
| みんなえがお | みんなえがお |
| 桶川東中学校二年松枝 垣里 | 桶川東中学校二年深谷 娅里 |
| みんなで家庭菜園 | みんなで家庭菜園 |
| 桶川西中学校二年矢澤 真友 | 桶川西中学校三年渡辺 綾 |
| みんなで家庭菜園 | みんなで家庭菜園 |
| 桶川西中学校三年安藤有理奈 | 桶川西中学校三年長谷川美穂 |

青少年健全育成功勞賞表彰

「家庭の日」ポスターコンクール

「私たちの主張」作文コンクール

優秀賞

私の夢

優秀賞

私の夢

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、健やかに平成二十五年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

二十四年度より、桶川市青少年健全育成市民会議の会長を務めさせていただきました。

本大会に続き、「青少年育成功勞賞」「善行賞」の表彰が行われ、さらによろしくお申しあげます。

毎年明けましておめでとうございます。
皆様には、健やかに平成二十五年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。



作品については桶川市公式ページ <http://www.city.okegawa.lg.jp> 分野別一覧→自治・文化→青少年・放課後子ども教室→青少年健全育成市民会議からることができます。

「家庭の日」ポスターコンクール



高橋 麻裕子(日出谷小 六年)



加藤 奈央(桶川東中 一年)

優秀賞作品



深谷 晏里(川田谷小 五年)



矢澤 真友(桶川西中 二年)



三村 莉杏(川田谷小 六年)



松枝 亜美(桶川東中 二年)

親子ふれあいウォーキング2012 加納・川田谷

十月六日（土）加納地区のふれあいウォークが行われ、二組五十八名の参加者が集まりました。朝八時三十分から、桶川市教育委員会前にて受付が始され、説明を聞いた後、八時五十五分に出発しました。ボツボツ雨も落ちてきましたが、元気に歩いているうちにやんでもまいりました。後から聞いた話では、上尾や大宮は、どしゃ降りの雨だったそうで、日頃の行いの良い人達ばかり集まつたのだ！と思いました。加納の秋の風景を見つけながら、明星院に向かいました。道端には、彼岸花が咲いていました。初めて見たのですが、白い彼岸花を見つけ、びっくりしました。氷川諏訪神社でクイズのヒントを見つけ、ささら獅子舞の説明をしてもらつたら、いよいよ加納小に向かっていました。道端には、彼岸花が咲いていました。初めて見たのですが、白い彼岸花を見つけ、日頃の行いの良い人達ばかり集まつたのだ！と思いました。加納の秋の風景を見つけながら、明星院に向かいました。道端には、彼岸花が咲いていました。初めて見たのですが、白い彼岸花を見つけ、日頃の行いの良い人達ばかり集まつたのだ！と思いました。加納の秋の風景を見つけながら、明星院に向かいました。道端には、彼岸花が咲いていました。初めて見たのですが、白い彼岸花を見つけ、日頃の行いの良い人達ばかり集まつたのだ！と思いました。加納の秋の風景を見つけながら、明星院に向かいました。道端には、彼岸花が咲いていました。初めて見たのですが、白い彼岸花を見つけ、日頃の行いの良い人達ばかり集まつたのだ！



その二週間後の十月二十七日（土）には、川田谷地区のふれあいウォークが行われ、三十七組八十七名の参加者が農業センターに集まりました。八時五十五分に出発。薬師堂集会所を目指します。地図を見ているのに道を外れそうになつたりとアクションもありますが、秋の景色を見ながら、薬師堂集会所を目標に答える、コマ図を見ながらタイムトライアル。途中、熊野神社でクイズに答え、コマ図を見ながら歩き、設定時間でつけば満点。時間のズレは、マイナスされますが、加納小でもクイズがあり、解いた人から再び歩き出し、最後のエックポイントで採点してもらい、ゴールしました。



歩きます。道に迷いそうな場所には、立て札と風船の目印があり、少し不安になりながらもコマ図を見つけ、ホッとして歩を進めました。

晴れていれば土手から素晴らしい富士山が見えるのですが、曇り空で残念でした。三田原集会所では、サプライズオケちゃんが待っていてくれて、記念写真を撮りました。そこからゴルの農業センターに向け、ラストスパート。ゴールでは、子ども会の人たちが作ってくれたおいしい豚汁が待っていました。

加納小PTAの方々、桶川市子ども会育成連絡協議会の方々、川田谷の子ども会の方々、地域の皆様、ありがとうございました。

（大）

地域と子どもを考える

子どもを守る



おかげさま



最近いじめや自殺のニュースが多く、子を持つ親として大変胸が痛みます。どうして気づいてやれないのでしょうか。どうして子どもは言わないのでしょうか。

地域で子どもを守るはどういうことなのでしょうか。親でさえ、いじめになかなか気づきません。それを地域の方がどうやって気づけるのでしょうか。普段から、よく顔を見て、よく声をかけ、様子を見ていたら、もう少し早く気づくのではないかでしょうか。

近頃は、昔のように、子どもが悪いことをした時などに近所の人気が注意したり、怒ったりしなくなりました。スーパーで走り回る子ども、病院で騒ぐ子ども、電車のシートに靴を履いたまま窓の外を眺めている子どもなど、保護者がそばにいても注意しない。それでは、子どもはマナーがわかりません。きちんと公共の場でのマナーを教えることは、大人の役目だと思います。

(高)

私は四人の子どもがいます。この子たちを無事にここまで育てることができたのは親の力だけではありません。多くの人のおかげです。

子どもたちがまだ小さいころ、下の子の世話を手の回らない私を見て、上の子の面倒を見て、ただたり、逆に上の子の用事があるときには下の子の面倒を見ていたこともありました。

「○○ちゃんが一人で公園にいるよ。大丈夫?」「このあいだ○○(ちなみに学区外のとても遠いところで、学校では行つてはいけないと指導されている場所)にいたよ」などの情報をもらつたり、学校の行き帰りに声をかけていたり、一緒に遊んでもらつたり。子どもたる安全のためにGPS付きの携帯を持たせたいと思うようなことは一度もなく済みました。今思ひ返して、あらためてありがたさでいっぱいになります。

そして多くの、いろいろな年代、いろいろな個性を持つ方々とのふれあいは子どもの世界を広げ、豊かしてくれたと思います。子どものためばかりではありません。

朝起きた時に家族にちゃんと「おはよう!」って声をかけてますか?外から戻ったとき、「ただいま!」「おかえり!」の声が出てますか?脱いだ靴はきちんと揃えてますか?

これは子どもへの質問ではありません。読んでくださいませ。『あなた』『大人の方に聞きります』。『あなたの』『大人の方に聞きます』。『あなた』『大人の方に聞きません』。

健全という言葉は固いですが、健全に育つてほしい子どもたちには、まず身近な大人が良い手本、見本とならなくちゃ』です。

選挙権を持つ二十歳になつたら社会人として生きていくれる

ません。子どもを通して私自身の世界も広く、豊かになり、成長させてもらつたと思つています。

(江)

地域と子どもを考える こことのゆとり



私たち今は、時代に、この世の中に流されているように思います。また、青少年をとりまく環境も益々厳しく、難しくなっています。

いつの世も、子どもや家族の笑顔を見るとほつとします。なんとも言えないこの心のやすらぎは、「家族の和」が起点になつています。

そして、冠婚葬祭だけではなく、お彼岸、お盆、家族の誕生日などには皆が集まりいろいろと談義することによつて、わだかまりが払拭されるのです。

先祖(祖父母・両親)に感謝するとともに、家族を大切にして、ひとりで生まれてきたわけではなく、ひとりで大きくなつたわけでもないことをもう一度認識したとき、おのずと母の生みの苦しみや海より深い母の愛情を心の底から味わうのです。

確かめ合つたり思い合つたり考えたりすることを重ねて積み上げていくことが一番大事です。

そうすることで自らの自信がみなぎります。今呼ばれている「縛」もここからおのずと生まれてくると思います。

『選挙権を持つ二十歳になつたら社会人として生きていくれる

よう、基盤を身につけさせたい。』

これはある教師の言葉ですが、親のやるべき事、子育ての目標として、今まさに毎日の生活の中で日々実践していると思います。

生活は毎日同じように繰り返されていますが、同じ日は二度とないですよね。春から夏、秋から冬と季節が巡つても、子育てに同じ時間はありません。

延長線上にある命の危機。最小超スピードで過ぎていく社会の変化に、親も子も対応できないまま一生懸命に生きていて日常生活にゆとりがありません。

回覧板



お世話精神

自分の存在を認めてほしい

親のやるべき事、子育ての目標として、今まさに毎日の生活の中で日々実践していると思います。生活は毎日同じように繰り返されていますが、同じ日は二度とないですよね。春から夏、秋から冬と季節が巡つても、子育てに同じ時間はありません。

今この一瞬一瞬に「人間」を育てているのです。家庭も学校も地域も『『社会』お互いに気持ち良く過ごせる世界』の中で人間として生きいく力を身につける：そのためには、まず家族と家庭が大事です。どうか大人としての気配り、気遣いを大切な家庭のために！

そして、近所の方にもニコッコツとあいさつ♥まわり中がニコニコしていたら、子どもはニコニコ育つて、この街も大好き♥になつてほしいです…。（加）

私は、ある高校のPプロジェクト

クトにボランティアとして参加しています。ボランティアで来ていると言うと、今どきの高校行事には、習い事等で忙しいため参加できない人が多く、来るメンバーや、いつも同じで変わりません。数年に一度まわってくる自治会の班長の仕事で、回覧板をまわすときも、ポストに入れてしまうから、顔を合わせてちょっと立ち話もありません。

親自身が地域との関わりを持てないので、子どもも同様でしょう。また、両親が共働きで、またたくましさを身につけて欲しいと願いながら、子どもの健全育成に関わっている各団体もそれぞれの立場で一生懸命頑張っています。しかし、それらの団体も情報交換がなされていないため単発に発信する

ところはとても良い事ですが、結果、地域活動よりも優先されてしまします。せめて時間があるときは、どうか子どもを地域に送り出して下さい。ご近所の人を見かけたら笑顔であいさつきで出ていかないし、出ていても帰つてくるといいます。住民にとつて居心地のいい、愛着のある場所なのです。桶川市の子どもたちに少しでもこのように感じてもらえるように、みんなで連携して魅力ある場所づくりをしていきたいと思つています。

近年、子どもの自殺の要因として友達からの集団のいじめが挙げられています。いじめる側の家庭内の親子関係が背景にあります。いじめと認識しないまま遊びの

生は「お金もらえば？」と言っていると言うと、今どきの高校生が一番の原因だと思います。ボランティアは、本人の気が向けば行い、都合に応じてやらない選択も可能です。時間と気持ちに余裕があり、周囲の人々が向かっていきたい等の「お世話精神」を支えに本人の自己満足で成り立つものだと思います。子どもがお世話になつているのだから、地域の公民館や集会所等で、定期的に、子ども達の居場所を集まる場所があつたら、仲間づくりができるのです。他人に強要できないことだからこそ、自身で決め、楽しく行つていただきたいと思っています。（山）

今は、地域での子ども会活動への参加が減つているそうです。地域の公民館や集会所等で、定期的に、子ども達の居場所を集まる場所があつたら、仲間づくりができるのです。他人に強要できないことだからこそ、自身で決め、楽しく行つていただきたいと思っています。（吉）

仲間づくり



先日、テレビのニュース番組で、就職できない若者の特集を放送していました。コミュニケーション能力が乏しいため、怖くて一歩が踏み出せないそうです。ゲーム、テレビ、マンガなどの孤独な遊びで育ち、生身の人との関わりが少なく育つた若者に多いといいます。

また、次のような家庭裁判所調査官のコメントを目にしました。「少年院に入つてくる少年に共通した特徴。それは家族構成

や地域差や学校差ではない。小学校3、4年生頃の育ち方である。」

ちょうどこの時期は、自意識が強くなり、まわりが見えてきて相手の心を理解でき始める頃です。その時期に、ゲームなどの

孤独な世界にいると、相手の心を感じる体験もなく、仲間づくりが難しくなることでしょう。

地域の子どもは地域で育てましょう。

（大）

それはとても良い事ですが、結果、地域活動よりも優先されてしまします。せめて時間があるときは、どうか子どもを地域に送り出して下さい。ご近所の人を見かけたら笑顔であいさつきで出ていかないし、出ていても帰つてくるといいます。住民にとつて居心地のいい、愛着のある場所なのです。桶川市の子どもたちに少しでもこのように感じてもらえるように、みんなで連携して魅力ある場所づくりをしていきたいと思つています。

（吉）

地域の大人も関わつていけたらいいのに…。大人も地域の子どもたちが見えてくることでしょう。

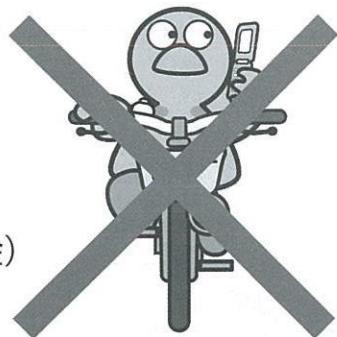
（河）

守ろう自転車のルール

- 歩道は歩行者優先（3ヶ月以下の懲役または5万以下の罰金）
- 左側を走ろう（3ヶ月以下の懲役または5万以下の罰金）
- 子どもはヘルメットをつけよう
- 安全ルールを守ろう
 - 飲酒運転は禁止（5年以下の懲役または100万以下の罰金）
 - 二人乗りは禁止（5万以下の罰金）
 - 並進（並んで走る）は禁止（2万以下の罰金または科料）
 - 暗くなったらライトをつける（5万以下の罰金）
 - 信号を守る（3ヶ月以下の懲役または5万以下の罰金）
 - 交差点では安全確認（3ヶ月以下の懲役または5万以下の罰金）
- 傘さし・イヤホン・携帯電話は禁止（5万以下の罰金）



KOBATON



KOBATON

平成二十四年度
桶川市青少年健全育成
市民会議総会

五月十九日（土）、桶川市東
公民館大ホールにおいて、今年
度の総会が行われました。

総会後、NPO法人全国万引
犯罪防止機構普及推進員の稻本
義範氏をお招きし、「子どもを
地域の目で見守る」青少年の万
引犯罪の実態から」と題して、
万引被害の実態と地域の大人的
役割について講演をしていただき
ました。

臼田実行委員長のもと、構成
団体の皆様と実行委員会を重ね
てまいりました、「おけがわ春の
ふれあいフェスタ」。五月十三日
（日）、無事三回目のフェスタを
駅西口公園にて開催することができ
ました。

雲ひとつない絶好の五月晴れ
の中、各参加団体によって食品
の販売、ステージでの催し物、
ダンボールのトンネルくぐりな
どが行われ、皆さんが楽しんで
いらつていました。歩行者天
国としたマロニエ通りからけや
き通りに至るまで、会場は約一
万二千名の人で大盛況でした。

今年もまた炭の会の皆様に竹
庭園で開催されました。



おけがわ春のふれあいフェスタ



非行防止キャンペーン

編集後記

七月九日（月）夕方から桶川駅周辺で非行防止街頭キャンペーンが行われました。当市民会議構成団体をはじめ、上尾警察署員、市職員、桶川駅長も参加して青少年の非行防止を訴えました。

十一月三日（土）桶川市民まつりにて非行防止キャンペーンが秋晴れの中山道において行われました。朝のパレードに参加した後、風船やリーフレットを手渡しながら青少年の非行防止を訴えました。

市民大会で講演された辻川牧子先生が「言霊（言葉の力）」についてお話をされました。江戸では、「刺し言葉」は使わないことがルールだったそうですが、私たち大人が普段何気なく使っている言葉が、子どもの心を傷つけたり、子どもが知らずに使つて他の人を傷つけたりすることはもあるのだと改めて考えさせられました。

子どもたちの社会は、大人の社会の鏡だと言われています。私たち大人が自ら範を示し、お互いの絆を深めていくことが、子どもたちの健全育成につながると思います。今まで以上に「世の宝」である子どもたちを、家庭・学校・地域が一体となつて見守つていく社会になることを願っています。（家）